			農地(畑地)個別	的要因	調査及	及び格	差率算	定表					
付表	長3の8											但	1格時点	平成	年月日
				標	準	地			対	象	地		格		
条	項目	細項目	記	号				土地	所有者				恰		計
件		75 2 5	(土地表	示)				(土地表	示)				差		H1
交通	集落との接近	集落との	最寄集落	まで約()m			最寄集落	まで約()m					
•	の程度及び	接 近 性	優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る	優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る			
接近条	農道の状態	農道の状態	優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る	優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る)
件															100
自	日照の状態	日照の良否	優 る	やや優る	普通	やや劣る	劣る	優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る		+	
Н	土権の仕能	土壌の良否												-	
然			優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る	優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る			
		礫の多少													
的			優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る	優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る			
		作土の深き	作土層()cm			作土層()cm					
条			優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る	優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る		-	
		排水の良否	優る		普通		劣る	優る		普通		劣る			
件	災害の合除性	災害の危険性			日地		27.0	返る		日也		77.0		- (
	火日の危険は	人 音 0 危 灰 压	優る		普通		劣る	優る		普通		劣る			100
	耕うんの難易	地積	面地の地	 積 ()アール		面地の地	.積 ()アール				
画			優る		普通		劣る	優る		普通		劣る			
		傾斜の角度	()度			()度					
地			優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る	優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る			
_		形状不整及び	:											Ш	
条		障害物による	<u>普通</u>	<u>やや劣る</u>	<u>劣る</u>	相当に劣る	極端に劣る	<u>普通</u>	<u>やや劣る</u>	<u>劣る</u>	相当に劣る	極端に劣る			
~~		障害の程度													
件	管理の程度	価格水準が低い地域	<u>普通</u>	<u>やや劣る</u>	<u>劣る</u>	相当に劣る	極端に劣る	<u>普通</u>	<u>やや劣る</u>	<u>劣る</u>	相当に劣る	極端に劣る		100	0×
ΙŤ		価格水準が中位の地域	<u>普通</u>	やや劣る	<u>劣る</u>	相当に劣る	極端に劣る	<u>普通</u>	やや劣る	<u>劣る</u>	相当に劣る	極端に劣る		()
% =		価格水準が高い地域	<u>普通</u>	<u>やや劣る</u>	<u>劣る</u>	相当に劣る	極端に劣る	<u>普通</u>	<u>やや劣る</u>	<u>劣る</u>	相当に劣る	極端に劣る		+	100
行政		行政上の規制			34:		76			36.5-		76		+	
的		の 程 度			普通		強い	弱い		普通		強い			
~		補助金、融資金等												()
件	の 程 度	による助成の程度	優る		普通		劣る	優る		普通		劣る		Ш	100

【別記6】 建物移転料算定要領

第1章総則

(第1条 略)

(建物の区分)

第2条調査算定に当たり、建物は次表のとおり区分する。

(区分表略)

- (注) 柱書き略)
- (1) 電気設備(電灯設備、動力設備、受・変電設備(キュービクル式受変電設備を除く。)、 太陽光発電設備(建材型)等)

((2)から(11)略)

第2章調査及び積算

(第3条から第7条略)

			農地(畑地)個別	的要因	調査	文び格:	差率算	定表						
才表	表3の8											伯	格時点	平成	年 月	日
				標	準	地			対	象	地					
条	項目	細項目	記	号				土地	所有者				格		計	
牛	クロー	神切口	(土地表	示)				(土地表	示)				差		рΙ	
交	集落との接近	集落との	の最寄集落)m			最寄集落	<u> </u> まで約()m						
通	の程度及び	接 近 忙	生 優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る	優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る				
妾		農道の状態	Ė.													
近条			優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る	優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る		()
牛															100	
	日照の状態	日照の良る	5													
É			優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る	優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る				
	土壌の状態	土壌の良る	5													
火			優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る	優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る				
iss		礫 の 多 生	Þ													
Ь			優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る	優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る				
扚		作土の深	さ 作土層()cm			作土層()cm						
			優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る	優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る				
条		排水の良る	5													
			優る		普通		劣る	優る		普通		劣る				
牛	災害の危険性	災害の危険!	生											()
			優る		普通		劣る	優る		普通		劣る			100	
	耕うんの難易	地 和	責面地の地	地積 ()アール		面地の地	積 ()アール					
画			優る		普通		劣る	優る		普通		劣る				
		傾斜の角原	度 (()度			()度						
圭			優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る	優る	やや優る	普通	やや劣る	劣る				
-		形状不整及で	ブ													
条		障害物による	る <u>普通</u>		<u>劣る</u>		極端に劣る	普通		<u>劣る</u>		極端に劣る				
木		障害の程度	度													L
rel.														100	×	
牛														()
-				ļ					<u> </u>						100	
行政	行政上の規制	行政上の規制														L
的的	の 程 度	の程り	度 弱い		普通		強い	弱い		普通		強い				
条		補助金、融資金等												()
件	の 程 度	による助成の程序	度 優る		普通		劣る	優る		普通		劣る			100	

【別記6】 建物移転料算定要領

第1章総則

(第1条 略)

(建物の区分)

第2条調査算定に当たり、建物は次表のとおり区分する。

(区分表略)

- (注) 柱書き略)
- (1) 電気設備(電灯設備、動力設備、受・変電設備(キュービクル式受変電設備を除く。)、 <u>ソーラーパネル等発電設備</u>等)

((2)から(11)略)

第2章調査及び積算

(第3条から第7条略)

様ヹ	【第1	号							
					建物移転料算定表[再築	工法]			
	Ē	近 在地			算定者	•		整理番号	
所	有者の	氏名又は名称			算定年月日		消費	貴税等相当額補償の要る	5
	所有	有者住所			採用単価		増築	の有無(木造・同種構造	<u>‡</u>)
区分		内容		番号	計算式	A棟	B棟	C棟	合計
_	構造・用途			(1)					
₩ !	延床面積			(2)		m²	m²	m²	
基		建築面積	ŧ	(3)		m²	m²	m³	
本		建築年月	1	(4)		年 月	年 月	年 月	
事項		標準耐用年	F数	(5)		年	年	年	
垻	経過年数		(6)		年	年	年		
		地区別補口		(A)					
		直接工事費			工事費(設備工事を含む)				
	建	共通仮	設費	(8)	(7)×(A)×(木造:3%、非木造:(7)×(A)に対応する率(移転先ごとの建築直接工事費の合計	額)) %	%	%	
	築			(9)	$(7) \times (A) + (8)$				
	采	諸経	費	(10)	(9)×((9)+(16)に対応する率(一発注単位))	%	%	%	
ェ		建築工事費(推	定再建築費)		(9)+(10)				
事		直接工	事費	(12)	工事費				
費		共通仮設費			(12)×(A)×(木造:3%、非木造:(12)×(A)に対応する率(解体直接工事費の合計額)) 建築の共通仮設を解体で共用できる場合は不要	%	%	%	
等		純工	事費	(14)	$(12) \times (A) + (13)$				
	解	廃材運		(15)					
	体	小	H	(16)	(14)+(15)				
		諸経	費	(17)	(16)×((9)+(16)に対応する率(一発注単位))	%	%	%	
		廃材処	分費	(18)					
		取りこわし	工事費	(19)	(16)+(17)+(18)				

【別記7】

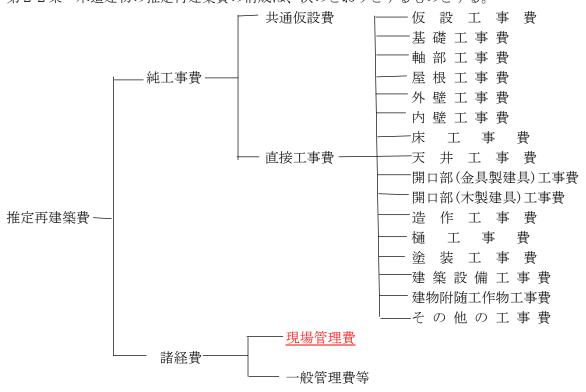
木造建物調査積算要領

(第1章から第2章 略)

第3章積算

(推定再建築費の構成)

第22条 木造建物の推定再建築費の構成は、次のとおりとするものとする。



様式	第1	号								
					建物移転料算定表[再築工法]					
		f 在地		算定者				整理番号		
所有	有者の氏名又は名称 所有者は所			算定年月日			消	否		
所有者住所		有 者住所		採用単価			増築	の有無(木造・同種構)	造)	
≅分		内容	番号 (1)	計算式		A棟	B棟	C棟	合計	
F	構造・用途					,				
基	延床面積 建築面積					mi	m² m²	mi a		
本 -	建築田槓					mí 年月	年月	年月		
事 -			(4)			年月年	年月	年月		
項ー	経過年数 経過年数		(6)			年	年	年		
h	地区別補正率		(A)							
		直接工事費	(7)	工事費(設備工事を含む)		i				
	7-1	共通仮設費	(8)	(7)×(A)×(木造:3%、非木造:(7)×(A)に対応する率(%	%	%			
	建築	純工事費	(9)	(7)×(A)+(8)						
		諸経費	(10)	(9)×((9)+(16)に対応する率(一発注単位))+資力確保	%	%	%			
┰┝		建築工事費(推定再建築費)	(11)	(9)+(10)						
事		直接工事費	(12)	工事費						
費		共通仮設費	(13)	(12)×(A)×(木造:3%、非木造:(12)×(A)に対応する率 建築の共通仮設を解体で共用できる場合は不要	(解体直接工事費の合計額))	%	%	%		
等	Ī	純工事費	(14)	(12)×(A)+(13)						
	解	廃材運搬費 (1								
	体	小計	(16)	(14)+(15)						
		諸経費	(17)	(16)×((9)+(16)に対応する率(一発注単位))		%	%	%		
		廃材処分費	(18)							
	F	取りこわし工事費	(19)	(16)+(17)+(18)						

【別記7】

木造建物調査積算要領

(第1章から第2章 略)

第3章積算

(推定再建築費の構成)

第22条 木造建物の推定再建築費の構成は、次のとおりとするものとする。

